令和2(2020)年8月4日発行　第114号

# こびとのおうちえんLetter 8月号

桜の木にニイニイゼミがいっぱいとまっている。(くください)がつかまえた！と見せにくる。川プールからあがったパンツしたのまま、さらにとろうとねらう。(とも)もきた。この2人よく見えるんだなぁ～これが。つかまえる。あざやか。私もねらったけど、とれず。ニイニイゼミのぬけがらはいっぱいみつけた。午後はタマムシを見つけて帰ってきた。そんなにいたの…キレイだった。午後、私は川プールで(ほのか)(あこ)(ゆり)(ほるだ)といて、急に…ああ私もなんて幸せなんだろうと思っていた。多分4人の開いてる心にだ。

## キッチンスタッフより

ここ数ヶ月、家の中を色々と片付けています。本類の整理もしていると、子育てや心に関するものも多くあり、それらを見ていると、子どもが生まれる前から生まれたらこんな風に育てようとか、○歳になったらこれが出来るようにならないととか、私自身もこんなお母さんでありたいとか…そう思ってきたんだなあと改めて感じました。

しかし、実際にはそう思うようにはならず…最近やっとやっとあきらめると言うか、そういう思いを手放してもいいのかなとふと思いました。

おうちえんで、子どもたちを見ていると、みんなキラキラしていて、一生懸命お話している姿、それを聞いてもらえた時の笑顔は本当に可愛くて。家でも同じように話を聞いてあげられたらいいな、シンプルにただ聞いて共感する、それでいいのかなと。おうちえんでは、ずっと大切にされてきていることですよね。

そして、私自身も好きなことをする時間とゆとりを持つことも大切だなと思っています。時には誰かの助けも借りながら。

梅雨も開けて暑くなってきました。暑さで食も細くなりがちですが、旬のお野菜を使って今日もみんなの体にも栄養を届けたいと思います。

浴　洋子

## ★7月はこんなことしました。

- ・七夕のかざりつけ
- ・川プール
- ・キクラゲとり
- ・穴ほり
- ・ソーメン流しごっこ
- ・ピタゴラスイッチ
- ・てるてるぼうず作り
- ・どろんこけいどろ
- ・竹のぼり・スプーンづくり
- ・年長児夏キャンプ
- ・ロングコースさんぽ
- ・ビー玉・こうがし作り
- ・野草のお茶づくり
- ・カエルさがしさんぽ
- ・虫とり(ちょうちょ、トンボ、セミ)
- ・室積で泳ぐ　etc…

## おしらせとお願い

- 夏休みは、8/8(土)～18(火)です。体調くずさず、元気におすごし下さいね。
- おうちで使ってないカレンダーは、ありませんか？　こどもたちのお絵かき用にほしいです。あれば持ってきてもらえるとうれしいです。

＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

## 8月のお母さんグループ

27日(木)　13:00～15:00

場所　てらこや

内容　フィーリング・グループ

今の自分の感情をわかち合い、ふれ合いましょう。メンバーの気もちをきいて気づくことも多い時間です。ご一緒しましょう。

(参加の方は事前に連絡ください。当日でも可です。)

## 8月のスタッフプラン

・海や川であそぼう！

おべんとうの日

・錦川でラフティング(年長・中)

※年少さんは、おうちえんですごします。

日程が、8/19、20、21のいずれかになります。近づいて天気のいい日に決めますので、よろしくお願いします。おべんとうの準備をよろしくお願いします。

(ラフティングの代金、時間等については、後日おしらせします。)

今年3月のお母さんグループで、私は、お母さんたちに私自身のことを話し、1人1人に聴き役になってもらう。というワークをしました。

「聴く」ということを大切に、そのことに取りくんでいるけれど、「聴く」ということは、実際には、とても難しい。人と関わっている以上、ずっとむき合っていく壮大なテーマであり、課題であろう、と思っています。

「ただ聴く」だけでも難しいけど、ここでは、聴いたことを、相手にできるだけていねいに伝え返し、あなたのことをこんなふうにうけとめましたよ。と相手に届けます。(=共感的理解)丸ごとうけとめてもらえたという経験は、自分を大切にされた、という体験でもあり、それは、力になります。「聴く」ということには、かなりの意識が必要です。し、やってみると、自分の感情がでてきてきけなかったり、話をとってしまったり、ことばだけをきいて気もちに寄れなかったり、きいてるようできいてなかったり…しんこう、大変。共感的にきける話ならまだしも、相手と違う意見だったり、せめられたりしたら、なかなか「聴く」に徹するなんてあるいみ神技。　でも、人との関係の中で、人と育み合う関係をつくるとしたら、とても重要なことだと思います。　ずっと、修業中。

さてさて壮大なテーマゆえ、こんなにざっくりだとなんだかなぁ…なのですが、ここで私が伝えたかったことは、その日、「聴く」体験をしたメンバーの1人のお母さんから、そのワークの4日後に、その時の自分の中で起こったこと(気づき)をていねいに伝えてもらったことがうれしく、そして、その学びの中で、その人自身が成長されていることを感じ、お互いに育ち合えている関係をうれしく思ったということです。

その人は、そのときのことを「気づいたこと」として、こうぶりかえっていました。

① 自分のこどもと自分が似たコミュニケーションのとり方をしていること。「つまりはこういうことよね」と相手のことをまとめて言う。

② 相手の話をきくときに、「うん、うん」ってきいているとき、きけてない時が多いかも。「うん、うん」ってきいているうちに自分の気もちを移入していて、その人の気もちをそのままきけてない気がする。

③ 相手の言うことをひとつひとつきこうとしていない。きいたことを、自分のことばで置きかえてしまうとニュアンスが変わって、相手はきいてもらえた気がしないのではないかと思った。

どれも、大きな気づきです。

私自身は、ああ、きいてもらっているなぁという思いを参加しているお母さんたちから受けとっていました。

最近、彼女から、久しぶりに「話きいてもらってもいいですか。」と言われました。話しながら、彼女の中の素直な気持ちがあふれ出し、整とんされていくのを見ました。問題は解決したわけじゃない。でも、そこに対して向き合う姿に出会い、私は、彼女との時間をうれしく思っていました。

宮野　嘉子

## よっこのちょこっとおうちえん日誌～日々のあれこれ～

川プールにでっかいふね登場。子どもなら6人くらいいける。大人ものれる♡そして、それが出たから?! なのか、年長男子たちが、男子！になってきた。なんだか冒険したいかんじとか、せんちゃしたいかんじとか、ふねからすのとか、ふねをこぐのとか、ふねの上で立った!!とかいい。いや～、急にたくましさが増してきたいい。あっおさん曰く、「ふねは男のロマンだから」そうなんだなぁい。(7/1)

雨の中のさんぽ。(ビーバー)が、「あっ！うさぎがおる!!」みると、道路の上を雨が白くはねている。いっぱいうさぎがとんでるー♪(7/7)

へびのぬけがらと背くらべする(かおる)(モモコ)(あこ)。おへやにねころがってる。長い～。そして大人ともくらべにいく。よっこ、ふっくん、さあ、まあみん、あっおいい。みんなより長い。あとは、しようただね～と明日を待つことにする。(7/9)

(あこ)との関係が良好だとかんじる。さんぽのとき、そっと手にふれてきた。そのときにああ、と思った。依存的でなくて、あなたを近くに思っているよ。というメッセージのように受けとれた。(7/8)

しずかに事件だったこと♪　モモコのセタのねがいごと…。もう大人女子の間では、きゃ～♡♡となっておったのでした。それなそぶりし@もみせたことないじゃん、モモコ！(7/3)

(あみん)思いどおりにいかないこと、しっかり泣いて自分の中で落としこんでいる。最近だんだん泣くのが短くなっている。りっぱいやん。